

第117回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

- 日 時 平成28年 1月20日(水) 午前11時30分～午後1時00分
- 場 所 千年成
- 出席委員 角替弘志委員長、望月紀久朗副委員長、伊藤公一委員、
飯田一晴委員、渡辺一弘委員、水野仁志委員
- 欠席委員 河村節子委員
- 進 行 1. 開 会
2. 開局20年記念事業説明
3. 質疑・意見
4. 特別番組放送予定、次回審議会予定、その他
5. 閉 会
- 審議内容 エフエムしみず 開局20周年事業説明
当社が平成28年6月に開局20年を迎えるにあたり、様々な事業／取組みを計画しています。
一連の事業に対する考え方や各項目の目的・内容、進捗状況を説明します。
- ・番組改編(平成28年4月)
 - ・20周年記念ロゴの制作(平成28年4月)
 - ・新ジングルの作成／BGMの刷新(平成28年4月)
 - ・20周年特別番組(平成28年6月頃)
「二十歳の宣言 ～発見! 20名の静岡パワ女～(仮)
 - ・防災特別講演会(平成28年11月)

審議内容

田中社長

平成8年6月の開局以降、皆様のご指導ご支援により、開局20年を迎えることができる見込みとなりました。

コミュニティ放送局は番組を通じて地域の発展・活性化に貢献するとともに、地震や異常気象の際には緊急情報を発信するという使命があります。

その使命を果たすためにも、20周年という記念の年をきっかけにして、新たなリスナーの開拓、ファンの拡大を目指して事業を展開していきます。

「番組改編」について

IT技術の進化や生活様式の変化により、ラジオの聴取スタイルも変わってきました。今までの「オールターゲット」の考え方を改め、「ミドルエイジの女性」を意識した番組編成・構成にしていきます。昼・夕の情報番組の放送時間帯を変更し、女性が興味を持つテーマを取り上げていく予定です。

「20周年ロゴの制作」について

20周年を明記した新ロゴを制作し、タイムテーブルやホームページ、名刺等に使用します。また記念ロゴが入ったノベルティを作成し、広く配布することで当社の20周年を告知していきます。

「新ジングルの制作・BGMの刷新」について

番組改編に併せてCM前後に流すジングルやオープニング等で使用するBGMを刷新します。番組コンセプトが変わったことをリスナーに認知してもらうことが狙いです。

「20周年特別番組」について

開局記念日の6月2日前後に「二十歳の宣言 ～発見！20名の静岡パワ女～(仮)」を放送します。静岡で若しくは静岡出身で活躍中・今後活躍が期待される女性20名にスポットを当て、紹介していきます。

「防災特別講演」について

11月12日(土)に清水テルサにて防災特別講演を行います。第1部は著名人による基調講演、第2部は防災関係者のパネルディスカッションを行い、地域の防災意識の高揚を図っていきます。

この講演会の模様は、録音・編集して後日放送します。

角替委員長

メディアの変化への対応は積極的に実施して欲しい。

エフエムしみずの放送は西伊豆海岸でも聴けるようだが、その住民をターゲットとした番組作りは可能か。

⇒ エフエムしみずは日本平の山頂に送信所があるため、障害物の無い西伊豆まで電波が届いています。しかし当社の放送エリアは「静岡市清水区」であり、清水を中心とした番組作りにならざるを得ない。

ただし昨年7月にサイマルラジオがスタートし、放送圏外からのリスナーからのメッセージも届くようになったので、柔軟に対応する必要があると考える。

望月委員

商工会議所や法人会の会合でも、毎回「地域貢献」が話題になっている。タイムリーな情報を放送するよう努めて欲しい。

飯田委員

商工会議所でも県域放送局との記者交流会を2ヶ月に1度行っているが、その内容なども情報提供していきたい。

伊藤委員

女性をターゲットというが、具体的にはどんな番組内容にするのか。

⇒ 内容については詳細を詰めている段階だが、女性が興味を持つ映画、ランチ、美容・コスメ、コンサートといった情報を取り入れていきたいと考えている。

渡辺委員

市政情報をどうやって告知していくか苦心している。エフエムしみずのリスナーが増えればそれだけ市の情報を知ってもらえる機会が増えるので、リスナーを増やす施策は歓迎したい。

水野委員

20周年をチャンスと捉え、積極的なリスナー獲得を図ってほしい。

市内小中校学校や生涯学習交流館、自治会との連携強化にも注力して欲しい。

次回は、平成28年3月18日（金） 13：30 開催予定

以上